



自分らしい波と、
ここで生きていく。



新潟で働く女性のロールモデル集

なみおと

TAKE
Free

大学生のわたし。

卒業後にはなにが待っているのだろうか
卒業する前に何をするのが正解なんだろう

わたしはこれからどこでどうやって
生きていけばいいんだろう？

正体の分からない、漠然とした不安に
おそわれる夜もある。

「なみおと」は、今まさに新潟市で自分なりのやり方で、
暮らしや仕事を積み上げる人たちの

言葉やこれまでをとりあげた小さな冊子。
わたしの「ちょっと先のライフスタイル」を考えるきっかけになるような本。

新潟市内の8人の学生の皆さんに
関わってもらって作りました。

今新潟で学生をやっているのが偶然だとしても、
「今、新潟にいること」は、
きつとあなたの未来の大切な土台。

だから、「漠然といつか」じゃなくて
今、少しだけ知ってほしい。
考えるきっかけにしてほしい。

先の見えない、予想のできない不安は、
全くなくなるものじゃない。

大人だって不安もある。
分からないこともある。
だけど同時に、

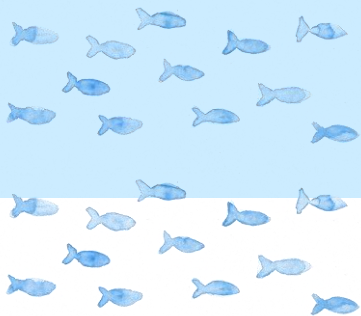
信じられるものや人や経験もある。
そんな「信じられる」言葉に、大人に、知識に、
大学生のあいだに少しでも触れてほしいのです。

気になるページからぜひ、読んでみてください。
この本があなたのなんとなくの不安を、少しだけ前向きなものにしてくれることを願って。

「なみおと」編集 井上有紀

★「なみおと」の名前

インタビューに応じてくださった方の言葉、「人生も仕事も波のように、辛いマイナスが1あれば、嬉しいプラスも1」。寄せては返す「波」と共に生きていくこと、自分の意思で進んでいくこと、などの意味を込めました。



目次

- 4P-7P 「自分で決めて生きていく」沼垂グループ談義
- 8P 「女性技術職としての仕事も生活も楽しむ」五十嵐彩絵さん
- 10P 「酪農から保健師へ、そして集落の暮らしへ」唐澤源子さん
- 12P 「好きだから伝えたい、違うから面白い」中嶋りささん
- 14P-17P 職業別4人の一問一答インタビュー
- 18P 新潟市の仕事・生活豆知識
- 20P 番外編「知っておきたい女性のからだ」
- 22P なみおとに関わった大学生たちの言葉

